



船橋市議会議員（市民社会ネット）

浦田秀夫通信

第 87 号
2012 年 5 月

自 宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019
事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350
メール hideo@urata.office.ne.jp ブログ <http://urata-hideo.seesaa.net/>

増大する子どもの虐待 児童相談所の設置が必要

市内の子どもの虐待
受付件数は、平成18年
度の85件から平成23年
度418件と急増してい
る。

その原因として、子
どもの虐待に関する市
民の関心が高まりこれ
まで潜在化していたものが、市民からの通報な
どによって顕在化した側面と、子育ての孤立化、
育児不安による親のストレスの増大、さらには
親の貧困の拡大など社会的、経済的要因の側面
がある。

おもな虐待者は、実の母親で全体の件数の
70%を超えている。

虐待は、社会的、経済的な要因の他、母親の
情緒不安、自分も虐待を受けていたなど様々な
要因が重なって発生すると言われている。

市は、虐待の早期発見や未然防止をするため
に、地域の子育て支援、保育園や児童ホームな
どでの相談活動、乳幼児検診に来ない人への戸
別訪問などを行なっている。虐待や疑いの通報
があった場合は、家庭児童相談室で対応してい
る。

しかし、問題は相談する相手がない、相談
に来ない、検診も受けない母親にどう対応する
のか、これまでの事例を分析し対策を講じるこ
とが必要だ。

また、中核市で人口が 60 万人を超えている市
には児童相談所がなく、児童相談室で対応して
いる。児童相談室の体制は、年々拡充され現在、



正規職員8名と非常勤5名の13人体制になっ
ているが、児童の一時保護や専門職の配置をした
児童相談所の設置が必要となっている。

子ども医療費助成 公約違反の森田知事

子ども医療費の助成に関して、県から県内の
市町村に説明があった。

その概要は①県は子ども医療費助成を24年
12月から小学校4年生から中学3年生まで入院
のみを実施する。②支払い方法は現物支給。③
通院については現行を維持し、今後総合的に検
討する。④市町村の独自助成分について12月か
ら現物化できるよう環境整備する。というもの
であった。

来年3月に知事選挙が行なわれるが、前回の知
事選で森田知事は、子ども医療費の助成を中学
校3年生まで拡大すると公約した。それは「入院、
通院と認識している」と市の担当課長が述べた
ように、入院、通院とも実施することであった。

通院は入院に比べ助成額が大きく、財政状況
から当分は見送るという方針で、これは明らか
に公約違反だ。

現在、市の上乗せ助成分（小学校6年生まで、
入院、通院とも助成）の支払いは償還払いにな
っており、県が12月から現物化できるようにす
るとの報告であったが、市はその実施について
の明言を避けた。

県が公約を破る中で、常に県よりも一歩前
の助成を実施してきた本市として、中学校3年
生までの通院費助成を実施するのかどうか、市
の子育て支援に対する姿勢が問われることにな
る。

被災者住宅補修助成制度 期限後の申請も救済を

船橋市は、東日本大震災による住宅等の一部損壊に対し、市独自の制度として被災者住宅補修助成制度を創設した。

助成限度額は50万円を補修費の2分の1を助成するもので、市内北部地区などでは屋根瓦の破損、落下など多くの被害が発生したが、これらの被災者を支援する制度として、我々も大いに評価した。

この被災者住宅補修助成制度の申請が3月16日に締め切られた。11月に罹災証明書の発行を受けたが、この締切り期限を知らず（認識していなかった）、大工さんの都合もあり、改修工事が期限を過ぎ、申請も期限後になってしまった市民に対し、市は冷たくこれを却下した。

市の説明によれば、こうした期限後の申請が複数件あったという。市は、締切り期限については広報等で十分周知した。期限後の申請は認められないという態度だ。しかし、どんなに周知を徹底しても周知漏れは生じるものだ。

市長が本制度を創設した主旨から言えば、一人でも多くの市民がこの制度を利用できるようにすべきだ。

市が十分周知したことは認めるとしても、こうした方々を救済できるように検討を求めたが、市は「気持ちはわかるが、救済は難しい」との回答であった。この問題、あらためて議会の中で質していかなければならない。



中村哲医師講演会

日時 6月8日(金) 午後7時～
会場 船橋市民文化ホール
入場料 1000円(大学生以下無料)
主催 ペシャワール会現地報告会実行委員会
後援 船橋市、船橋市教育員会、朝日新聞千葉総局、毎日新聞千葉支局他
協賛 生協パルシステム千葉、なのはな生協
入場券(前売券)を取り扱っています。希望者
はご連絡下さい。047-461-1350(浦田)

市民からの便り 新京成駅の無人化に反対

私、船橋で清掃業と便利業をしています。先日、高根台団地で、チラシ投函をしていたところ、何やら紙が振じられて捨ててありました。

私が投函したチラシも、このような形になってしまうのか?と思い…でも、ゴミはひろわなくてはと拾いました。開いてみたところ、浦田議員の通信でした。何かのきっかけだと思い、ひと通り読ませて頂きました。地域の事を、良く考えているし、議員さんの活動がわかり、勉強になりました。

中でも、新京成駅の早朝、夜間の無人化には、反対です。せっかく、補助金で整備した多機能トイレの使用が出来なくなるとは意味がなくなってしまうよね。これからますます、高齢化社会の時代になるというのに…高齢者が住みよい街にして行くのは、若い世代の役目だと思います。

幕張に住んでいます私の母も足が悪く、最近、エレベーターがついたことにすごく助かっていると言っていました。

私も、高齢化社会がますます進んで行く中で、高齢者の何かのお役に立てればと思い便利業を始めた次第であります。何か、ご協力できる事があればと思っております。

市政報告会を開催しました

4月15日、高根台公民館で市政報告会を開催しました。

新年度予算が審議された3月議会の内容を中心に報告しました。



今回、二和東から始めて参加した〇さんは「自宅の前の歩道の段差に躓き大怪我をした。浦田議員に連絡したら直ぐに市役所の方がきて応急補修し、最近きちんと整備して戴いた。本当に感謝しています。」と発言。

市政報告会に始めて参加した2名の方が新たに浦田秀夫と市民の会に入会しました。

